

ILC

21世紀の科学を切り拓き、東北と世界を繋ぐ

一関市

国際リニアコライダー

International Linear Collider

監修：岩手県

ILCを核とした国際学術研究エリアイメージ



- **国際研究所**
研究ゾーン、産学官交流ゾーン、ビジターゾーン、コミュニティゾーンなど
- **研究支援施設**
会議室、宿泊施設など
- **国際交流センター**
研究成果を発表、国際研究学会を開催
- **インターナショナルスクール**
英語等を基本としたグローバルな教育を実施
- **インターナショナルオフィス**
外国人研究者の日本における生活を支援するワンストップサービスを提供
- **研究者等の住宅** など



ILCが建設されると?

- **東北が世界の最先端科学技術の拠点になります。**

研究者や技術者、その家族が居住する国際学術研究エリアが形成され、東北と世界との交流が進みます。

- **新産業の創出が期待されます。**

国際学術研究エリア、東北大学等を拠点とした加速器関連産業クラスタを形成することにより、医薬、IT、バイオなど東北における新産業の創出が期待されます。

ILCの建設スケジュールは?

ILC計画は、研究者による国際推進組織が推進しており、想定されるスケジュールは次のとおりです。

| | |
|-----------|---|
| ～2012年 | 各建設候補地の条件を考慮した工学設計 |
| 2013年～ | ILC計画推進組織が、日、米、EU政府等に設計案を提示 → 候補地の評価・政府間協議 → 建設地決定 |
| 2010年代後半～ | 建設 |
| 2020年代 | 稼働開始 |